

著作  
下迫亮  
2019/9/1  
画像引用元  
Wikimedia  
commons

## 日本のヨーロッパタウン・長崎



長崎市は、鎖国体制において唯一の対欧取引の拠点として、日本でいち早く洋風文化が流入し、定着していききました。ここでは、その例をご紹介します。

・キリスト教  
日本には「大司教区」といわれる教会の取りまとめ役のまとまりが東京・大阪・長崎にあります。大阪大司教区は、一府二県で、東京大司教区は、一都一県で構成されていますが、長崎県はカトリック教徒が多いことから、単独で大司教区を構成しています。

そして、有名なのが「大浦天主堂」でしょう。この天主堂は日本二十六聖人の殉教地、西坂に向けて作られたり、「信徒発見」という隠れキリシタンと宣教師が出会う類まれな出来事の舞台になったりと、歴史的な出来事と関係する教会です。

### 洋館

長崎市には多くの洋館があり、今も多数の洋館が現存しています。その中でも有名なものが、「東山手洋風住宅群」と、「グラバー園」です。

「東山手洋風住宅群」は、オランダ坂通りと孔子廟通りに挟まれたところにある住宅群です。明治20年代に建築されたこの住宅群は、現在はレストランや資料館として使われています。



「グラバー園」は、旧グラバー住宅を中心として7つの洋館と展望台、長崎伝統芸能館などで構成されています。

1970年に長崎市が打ち出した「長崎明治村」構想により、様々な洋風建築を移設して開園したもので、1974年の開園から移設を重ね、2015年には世界遺産に登録されるほどの価値を持っています。



「ここ」まで長崎の洋風文化の代表例を「紹介しました。その他にも多数の洋風文化がありますので、ぜひ調べてみてください。」



### 平和への願い

長崎は、広島とともに原爆が投下された被爆地です。しかし、2015年の三六の調査では、広島原爆の投下日の全国正答率が29.5%であるのに対し、長崎原爆の投下日の全国正答率は25.6%と、影の薄い存在になっていることが否めなくなっています。



しかし、長崎も原爆の被爆地であることは変わりない事実であり、語り継がれて然るべきものです。今後二度と、このような悲劇が起きないように、選挙への投票や憲法改正国民投票への投票といった権利をしっかりと行使し、そして平和への願いをしっかりと持ち続けることが重要です。

↑世論調査の調査結果PDF(NHK)

### お知らせ

こちらはWEB版でございます！  
QRコードはリンクになつておりますので、クリックしてお進みください。  
一部のコンピュータや携帯ではご覧になれない可能性があります。何卒ご了承ください。  
なお、こちらはミスがあれば随時修正が入ります。  
あくまでも利便性を図るためのものです。また、諸事情により消えたり移動したりする場合があります。こちらでもご了承ください。

### 街の働き者・路面電車

長崎市で有名な交通機関といえば、路面電車でしょう。かつては東京・京都・大阪・名古屋などの大都市圏にありましたが、大都市圏の路面電車ほとんどが地下鉄に置き換えられ消滅してしまいました。（京都がバスの暴力でどうにかしている面も否めませんが）

そんな長崎の路面電車は、長崎電気軌道という会社が運営している私営の電車です。

現在は5つの系統（2系統は運行時間帯が限定されているため実質4つ）が運行されており、長崎市内の各地を結んでいます。そして、運行本数も非常に充実しており、JR西浦上駅から長崎駅前、新地中華街を経由して崇福寺へ至る系統は5分間隔が、石橋電停から大浦天主堂、中華街、めがね橋経由で蛍茶屋に至る系統は6分間隔が確保されており、観光客のみならず、市民の足としても活躍しています。

さらに、運賃が130円均一と非常に安いことも特徴です。（参考：京都市バス均一区間11230円、都営バス23区内11210円）



↑通信制限の人には厳しいかも  
(Youtubeのリンクです)